

とやま農山漁村インターンシップ 参加者募集中！

富山県の農山漁村で
地方について
考えてみませんか？



応募締切 6月30日（木）

※別紙申込用紙によりご応募ください。
※申込者多数の場合、選考となります。

1. 「とやま農山漁村インターンシップ」とは？

都市圏の学生ら若者世代を対象として、富山県の農山漁村地域で実施する**滞在型のインターンシップ事業**です。インターンシップの**期間は一週間**。参加者には、富山県内の農山漁村地域に滞在し、ひろく“地域づくり活動”（農林業、調査、地域づくりワークショップ等）に取り組みながら、外部から来た若者ならではの視点で地域の現状や課題について考えていただけます。「地方創生」が国の重要課題とされる中、地方の現状を知り、“地域資源の発見”や“都市農村交流”といったテーマについて具体的なケースをとおして考える機会となります。受入地域側（農山漁村）においては、参加者との交流や意見交換等とおし、地域活性化や地域の課題解決の契機となることを企図しています。

現在、下記の三地域での開催を予定しております。

- ① 2016年 8月2日（火）～8日（月） 富山市大長谷（おおながたに）
- ② 2016年 8月19日（金）～25日（木） 富山市山田
- ③ 2016年 8月22日（月）～28日（日） 氷見市粟原（あわら）

実施期間はいずれも7日間（概ね初日は午後開始、最終日は昼過ぎ終了の実働約6日間）です。[詳細は裏面△！！](#)

2. 受入団体

富山県指定交流地域活性化センター「NPO法人グリーンツーリズムとやま」が受入団体となります。なお、インターン実習は全日程とも特定の地域に入る内容であり、NPOの運営に関する直接の業務とは異なりますのであらかじめご了承ください。

3. インターンシップ中の生活・費用

- ・インターンシップ期間中は、地域に設置された“世話人”が滞在中の生活その他について指導的な役割を担います。
- ・実習期間は原則現地での滞在となりますが、**宿泊場所（交流施設その他）、現地での移動手段及び食材（食事は主に自炊）は受入地域からの提供**となります。**現地までの交通費は支給されません**のでご了承ください。また、無給の活動となります。
- ・詳細につきましては別紙募集要項をご確認ください。

お問い合わせ

富山県指定交流地域活性化センター
NPO法人グリーンツーリズムとやま 担当 高橋
【TEL】 076-482-3161
【FAX】 076-482-3635
【MAIL】 info@gt-toyama.net
【HP】 <http://gt-toyama.net/>



インターンの
詳細は裏面へ

8/2 (火) ~8 (月) IN 大長谷 (おおながたに)

1. 実習テーマ

定常的な交流人口の確保に向けた地域資源の整理
及びグリーンツーリズムへの活用

2. 実習の概要

岐阜県境に位置し広大な自然に囲まれた大長谷地域。近年は人口減少や高齢化が著しく、最盛期に約1,700人いた人口は現在約60人、70歳以上の人口が全体の約四分の三と、大変厳しい状況となっています。このような中、地域では白木峰をはじめとした(観光)資源や施設を利用し都市農村交流に取り組んできました。今後は、現在は点として存在している地域内の資源や施設の情報を整理し、人の流れをつくることで、年間を通じた定常的な交流人口を確保していきたいと考えています。

インターンシップでは、地域の現状や課題を知り大長谷の地域資源を整理した上で、グリーンツーリズム体験コースを提案していただきます。

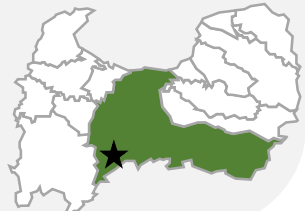
世話人
今村農園
今村秀人さん



3. 実習プログラム (予定)

- 1日目: 地域の概要について / 地域見学
- 2日目: 地域の観光資源など確認 (白木峰など)
- 3日目: 住民調査 (地域の資源についてなど)
- 4日目: 農作業体験 (山菜畑、循環型農業など)
地域資源の情報整理
- 5日目: "
- 6日目: 自由散策・提案準備
- 7日目: 成果発表会

※ 実習内容は一部変更の可能性があります。



8/19 (金) ~25 (木) IN 山田

1. 実習テーマ

都市住民からみた地域や農山村生活の魅力発見

2. 実習の概要

山田(旧山田村)は富山市の中心部から比較的アクセスのよい場所に位置する農山村地域です。NPO山田の案山子による直売所の運営や、イベントの実施など、地域活性化に向け積極的な活動を展開しています。一方で地域の若者の流出に歯止めがきかず、人口は減少の一途をたどっています。今後、地域では都市からの移住者増加に向けた活動(定住促進ツアーなど)に力を入れる考えですが、地域や農山村生活のどのようなポイントを押し出せば都市住民に訴求できるのか、地域の住民にとっては見当がつかないのが実情です。

インターンシップでは、地域の現状や課題を把握し、農山村の暮らしを体験した上で、都市住民の視点から地域の魅力や農山村生活の魅力を発見し提案していただきます。

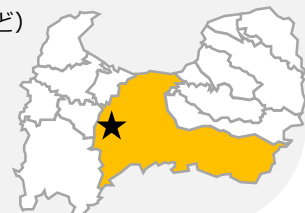
世話人
山田地域自治振興会長
吉田良雄さん



3. 実習プログラム (予定)

- 1日目: 地域の概要について / 地域見学
牛岳ライトアップ見学
- 2日目: 農作業体験 (電気柵、畑など)
生産者のお宅訪問・出荷お手伝い
- 3日目: 農産物直売所見学 / 農作業体験
- 4日目: 住民調査 (住民が考える地域の魅力など)
- 5日目: 観光資源や特産物生産現場訪問
- 6日目: 自由散策・提案準備
- 7日目: 成果発表会

※ 実習内容は一部変更の可能性があります。



8/22 (月) ~28 (日) IN 栗原 (あわら)

1. 実習テーマ

都市農村交流に向けた環境づくりの提案及び利用
可能な地域資源の(再)発見

2. 実習の概要

一般的な“海”のイメージの一方で、豊かな里山地帯でもある氷見市。その中ほどにある栗原は、次第に高齢化や人口減少が進行するなか、今年4月には地域の特産であるタケノコなどの地域資源を活用した「桜まつり」を初開催するなど、都市農村交流による地域活性化に向けて機運が高まっている地域です。今後は年間を通じた交流人口の拡大に向け、都市住民にとって魅力的な地域を創るべく、環境整備等を進める考えですが、ここで生まれ育ち地域を見慣れている住民からは画期的なアイデアが出てこないのが現状です。

インターンシップでは、栗原の地域資源を(再)発見し地図上に位置づけた上で、都市の若者の視点から“訪れたいくなる魅力的な地域/環境づくり”の方策を提案していただきます。

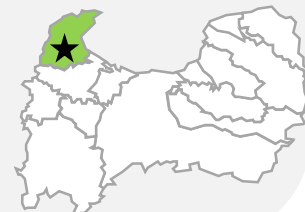
世話人
栗原地区区長
澤田憲三さん



3. 実習プログラム (予定)

- 1日目: 地域の概要について / 集落見学
来年の“桜まつり”を考える座談会
- 2日目: 集落見学 / 農作業体験 (竹林、畑など)
- 3日目: 環境美化活動 / 住民調査
- 4日目: 住民調査 / 地域資源マップづくり
- 5日目: 農作業体験 / 地域資源マップづくり
- 6日目: 自由散策・提案準備
- 7日目: 成果発表会

※ 実習内容は一部変更の可能性があります。



とやま農山漁村インターンシップ募集要項（H28年度）

【参加要件】

原則として、全日程参加が可能な方とします。ただし、全日程参加が困難な場合、2泊3日以上かつ最終日の参加が可能な方のみ応募可能とします。

※ なお、応募者多数の場合、全日程参加の方を優先とします。

【募集人数】

各地域6～8名程度。応募者には選考の上、7月上旬に本人あて郵送及びメールにて結果を通知します。

【交通手段】

最寄りの駅又はバス停までの交通費は、自己負担となります。なお、最寄りの駅又はバス停から現地までの移動については、受入地域側で準備します。

【滞在期間中の生活及び費用など】

- ・ 移 動：地域内の移動手段は受入地域より提供します。
- ・ 費 用：実践活動に係る経費（食費、宿泊費、洗濯費、入浴費）は不要です。
ただし、嗜好品や個人的に必要なものは、参加者負担となります。
※ 期間中、食材の買い出しなどに行く場合があります。
- ・ 宿 泊：民家・交流施設（公民館含む）などで、調理設備がある場所となります。
参加者が男性・女性と混在する場合、宿泊部屋は別々で準備します。
- ・ 食 事：原則として自炊（食材は受入地域からの提供）となります。受入地域の方と一緒に、共同で炊事する場合があります。
- ・ 交流会：期間中、地域の方との交流会を実施します。
- ・ 入 浴：宿泊先の浴室、または近隣の入浴施設を利用します。
- ・ 洗 濯：期間中に数回程度を予定しています。乾燥設備がない宿泊場所もあります。
- ・ 寝 具：受入地域にて準備するため不要です。
- ・ 報 酬：インターンシップによる課題解決型の実践活動事業のため、無給です。
- ・ その他：病気やケガなどの不測の事態が発生した場合は、世話人ほかスタッフが対応します。
ただし、日常利用している薬は、各自で準備をお願いします。

【主な持ち物】

- ・ 汚れても良い服装（作業用）
- ・ 防寒具
- ・ 長靴（山・畑仕事などの対策）
- ・ 長そでシャツ（暑さ、虫、ケガなどの対策）
- ・ 長ズボン（虫、ケガなどの対策）
- ・ 帽子（熱中症などの対策）
- ・ タオル（汗ふき用、ケガ対策など）
- ・ 軍手（作業用、ケガ対策）
- ・ 雨具（動きやすいカッパ上下）
- ・ 洗面用具（歯ブラシ、歯磨き粉など）
- ・ 風呂用具（バスタオル、シャンプー、石鹸など）
- ・ 寝巻
- ・ ノートPC
（成果発表に使用。事務局でも数台準備しますが数に限りがあります）
- ・ カメラ
（調査に使用。携帯電話などでも構いませんので必要に応じてご用意ください）

【写真掲載等について】

インターンシップ実施中に撮影した写真・映像（音声を含む）につきましては、当事業の報告書に掲載させていただく他、本事業のPRの目的で、富山県及びグリーンツーリズムとやまのウェブサイト、パンフレット、ポスター、機関誌等に掲載させていただくことがあります。予めご了承ください。

【各種書類等の提出】

7月上旬に参加が決定した方には、別途、追加確認書類（顔写真、緊急連絡先など）をご提出いただきます。また、その際に、別途「健康チェックシート」及び「写真掲載等に係る同意書」（上記写真掲載等の事項に係る同意を頂きます）をご提出いただきます。応募前にあらかじめご了承ください。

【その他】

- ・ 滞在期間中の詳細内容が決まりましたら、2週間前を目途に参加者へ郵送します。
- ・ 参加決定後のキャンセルは、受入地域にも迷惑がかかるため、極力避けて下さい。
どうしても参加できない場合は、事務局に速やかにお知らせ下さい。

H28とやま農山漁村インターンシップ申込用紙



参加を希望するインターンシップ（※複数選択の場合は希望順位を記入）

大長谷（8/2～8） 山田（8/19～25） 栗原（8/22～28）

氏 名（ふりがな）		生 年 月 日		性 別
所 属			出身都道府県	
		年 月 日		
【記載例】XX大学YY学科ZZ研究室3年				
住 所				
〒 -				
電 話 番 号			Eメールアドレス	
- -			※なるべくPCメールを記載してください	
F A X 番 号				
- -				
このインターンシップの参加を希望する理由				

※記載いただいた内容は選考の際に参考にさせていただく場合があります

インターンシップへの参加をご希望の方は、上記各項目に記載の上、下記のいずれかの方法でご提出ください。
締切は**2016年6月30日（木）**です（※郵送の場合消印有効）。

※上記の各項目が全て記載されていれば、様式はこの用紙に限りません。

- ・FAX（076-482-3635）
- ・メール（info@gt-toyama.net）
- ・郵送（〒930-0094 富山県富山市安住町3-14 富山県建設会館4F）